

22-12-05

高ペイロードドローンを活用した 孤立集落への救援物資輸送の実証実験を実施します

2022年12月19日（月）（予備日：12月20日（火））から延期していた実証実験について、実施日時が決まりましたので、お知らせします。

名古屋鉄道は、愛知県から受託した「無人飛行ロボット活用促進事業」の一環として、大規模災害による孤立集落の発生時に、ドローンが救援物資の提供を行う運用モデルを想定した実証実験を実施します。

本実験に際して、従来のドローンに比べ輸送する荷物の可搬量（最大積載量）が大きい高ペイロードドローンを使用して、従来のドローンでは難しかった 30～40kg 程度の荷物輸送への挑戦を予定しています。

記

1 実施体制

- 委 託 元：愛知県（無人飛行ロボット活用促進事業実施委託業務）
- 実 施 事 業 者：名古屋鉄道株式会社
- 協力事業者等：株式会社プロドローン（機体開発・運航）
生活協同組合コープあいち（救援物資提供）
ミヤチ株式会社（救援物資提供）
新城市、豊川市（実証実験協力）
東三河ドローン・リバー構想推進協議会（実証実験協力）

2 実施予定日

2月13日（月）13：00 から

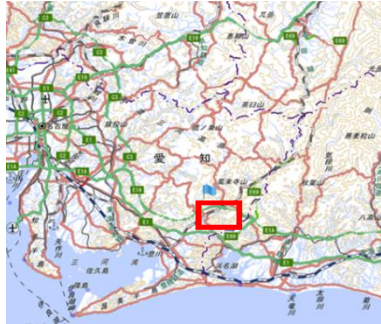
※荒天の場合は予備日（2月14日（火）13：00 から）に順延します。

~~12月19日（月）13：00 から~~

~~※荒天の場合は予備日（12月20日（火）13：00 から）に順延します。~~

3 実施内容

実証テーマ	高ペイロードドローンを活用した孤立集落への重量物を含む救援物資輸送の検証
実験内容	東三河地域等の山間部で課題となっている、大規模災害による孤立集落の発生時に、ドローンが救援物資の提供を行う運用モデルを想定した実証実験を実施します。 実験に際しては、新城市と災害支援に関する協定を締結している生活協同組合コープあいち、および東三河ドローン・リバー構想推進協議会※1の会員との連携や、優れた携行性と高ペイロードを両立するドローンの活用により、これまで実現が難しかった小型資機材（水・食料等）の大量輸送や、蓄電池等の重量物輸送について検証します。
※1 豊川市、新城市を事務局としたドローン・エアモビリティに関する官民協議会	

飛行箇所および 選定の背景	【離陸地点】しんしろしたもちおおすじ新城市只持大筋 農産品直売所「に ご なの一まんばざーる荷互奈」駐車場 【着陸地点】しんしろし ふ り こ ま つ が ね きゅうほうらいにししょうがっこう新城市布里小松ヶ根 旧鳳来西小学校 (新城市の指定避難所) 【飛行距離】約 300m 【高低差】約 70m   (国土地理院地図) 【離陸地点】に ご な 農産品直売所「荷互奈」駐車場  【着陸地点】きゅうほうらいにししょうがっこう 旧鳳来西小学校  【選定の背景】 新城市内には災害時に孤立する恐れのある集落が 60 カ所あり、本実証箇所である旧鳳来西小学校はその一つ。避難所の開設が新城市内で最も多い(過去累計)。
	【使用予定のドローン】 株式会社プロドローン製高ペイロードドローン(試作機) 【スペック】 大きさ(展開時):2,470mm 最大ペイロード:50kg バッテリー非搭載時機体重量:28kg 【特徴】 折り畳みが可能で、ワンボックスバン等に載せて搬送することができる。 

本件は、名鉄グループ中期経営計画「Turn-Over2023 ～反転攻勢に向けて～」(2021～2023 年度)の重点テーマに掲げる「交通事業の構造改革」および「今後成長が見込まれる分野の収益力強化による収益構成の見直し」の「先端技術を活用した取組みの推進」の一環として取り組むものです。

以上